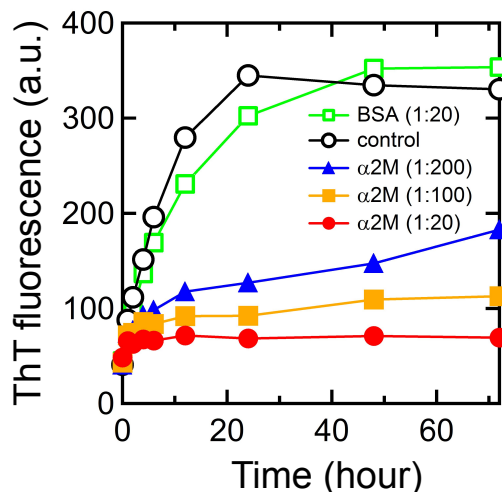


α_2 -マクログロブリンは β_2 -ミクログロブリン アミロイド線維の試験管内形成を抑制する

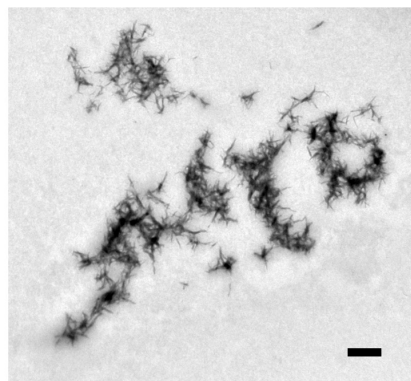
研究分担者：福井大学医学部分子病理 内木宏延

図. α_2 -マクログロブリン (α_2 M) の β_2 -ミクログロブリン (β_2 -m) アミロイド線維形成抑制効果

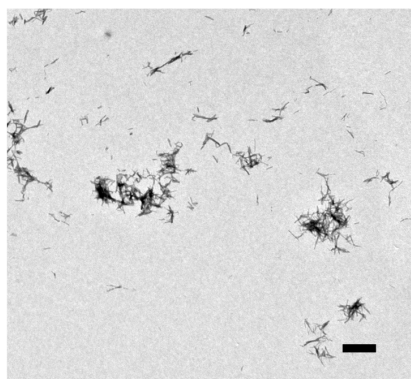
α_2 M (1:20)はモル比で α_2 Mが1、 β_2 -mが20を示す



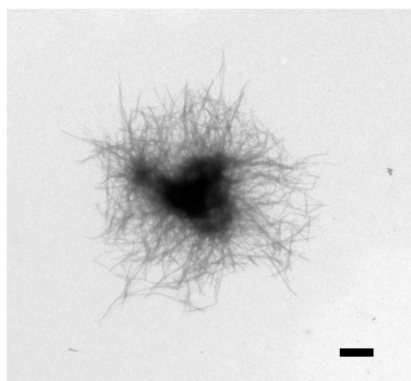
α_2 M (1:20)
72 hr



seed



control
72 hr



1 μ m

解説

1. β_2 -ミクログロブリン (β_2 -m) アミロイド線維は長期血液透析患者組織に沈着し、透析アミロイドーシスを引き起こす。
2. われわれは、 α_2 -マクログロブリン (α_2 M) が中性pH、SDS存在下における β_2 -mアミロイド線維伸長を濃度依存性かつ substoichiometricに抑制する事を明らかにした。
3. この知見は、 α_2 Mによる細胞外蛋白質品質管理機構と透析アミロイドーシスの病因が関係している事を示唆している。